

# 石川県におけるイノシシの捕獲状況について

野 崎 英 吉 石川県白山自然保護センター  
林 哲 石川県環境安全部自然保護課

## CAPTURING DATA OF JAPANESE WILD BOAR (*SUS SCROFA LEUCOMYSTAX*) IN ISHIKAWA PREFECTURE

Eikichi NOZAKI *Hakusan Nature Conservation Center, Ishikawa*

Tetsu HAYASHI *Nature Conservation Division, Environment and Safety Affairs Department, Ishikawa*

昭和21年度から平成14年度まで石川県内の二ホンイノシシ(*Sus scrofa leucomystax*) (以下イノシシ)の捕獲状況を狩猟関係統計(林野庁, 環境庁)に基づいて図1に示した。これによると, 県内の捕獲記録は昭和29年度からあり, その後昭和50年代にはいるまでは, イノシシの捕獲はないか, あっても一桁台で増加する傾向はなかった。昭和53年度以降は昭和61年度を除いて毎年捕獲されるようになった。平成5年度からは毎年2桁台の捕獲となり9年度には50頭を越え56頭となった。さらに平成10年度には3

桁の147頭に増加し, 平成11年度には98頭であったが平成12年度には200頭を超えた。

昭和48年度から昭和51年度の調査では石川県内のイノシシの生息はないとの報告であった(花井, 1977)。最近の知見では, 石川県のイノシシ生息の分布は金沢市以南の加賀地方に限られ, 能登半島には生息していない(野崎, 1999)。

本報は, 石川県自然保護課が収集した平成12年度~14年度までの捕獲資料に基づき, 石川県におけるイノシシの捕獲記録をとりまとめたので報告する。

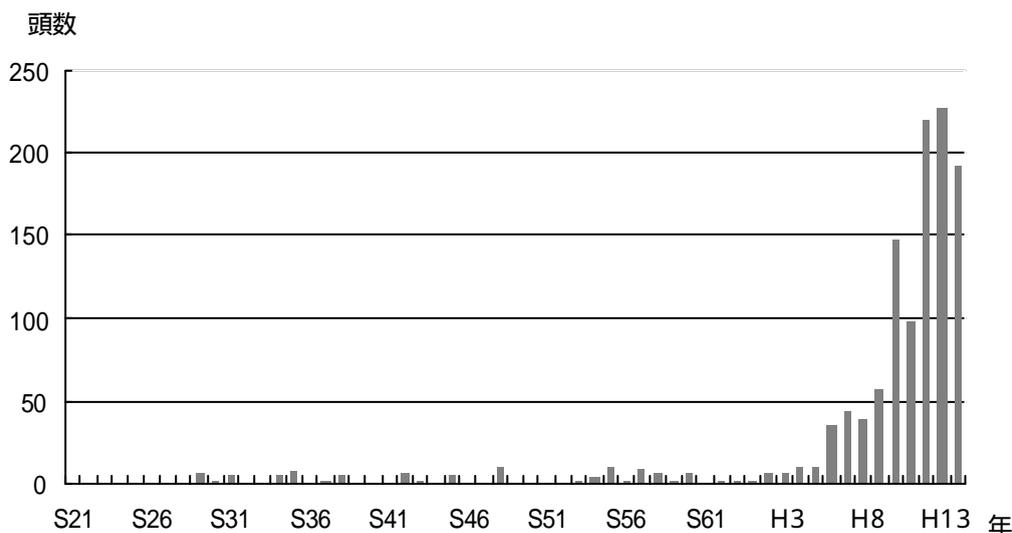


図1 石川県におけるイノシシの捕獲頭数

方 法

自然保護課が行政資料として、平成12年度と13年度は各農林総合事務所を通じて狩猟者に問い合わせたイノシシ捕獲情報を元に、整理した。情報項目はイノシシの性別、体重、捕獲者氏名、捕獲頭数、捕獲場所、捕獲場所のメッシュ番号(平成12年度は5kmメッシュ、平成13年度以降は国土基準メッシュ)であった。また、平成14年度の猟期からは、鳥獣保護および狩猟の適正化に関する法律では、猟期終了後に狩猟者は狩猟者登録証裏面の鳥獣捕獲報告欄に捕獲した鳥獣名、捕獲した場所のメッシュ番号、捕獲頭数を報告することとなった。これに基づいて捕獲状況を資料化した。

結 果

H12, 13, 14年度の捕獲報告者数および捕獲報告件数を表1に示す。記入内容に関しては、性別、体重、捕獲地点など不明の情報が半数近くとなり、情報精度の低い資料となった。

図2に平成12年度の捕獲地点を5kmメッシュで示した。また、図3、図4に平成13, 14年度の捕獲地点を1kmメッシュで示した。平成12年度の捕獲区画数は5kmメッシュで18区画であった。平成13年度は1kmメッシュで106区画、平成14年度は94区画であった。捕獲報告による平成12年から14年までの捕獲数は218, 225, 180頭で、捕獲されたイノシシの性別はほぼ1対1であった(表2)。また、捕獲されたイノ

表1 所管事務所別の報告者数および捕獲報告件数

所 管 事務所名	H12		H13		H14		合 計	
	報告者数	報告件数	報告者数	報告件数	報告者数	報告件数	報告者数	報告件数
加 賀	13	25	15	41	不明	37	28	103
小 松	11	32	16	53	20	45	47	130
石 川	23	47	25	56	22	42	70	145
金 沢	15	13	21	45	20	43	56	101
津 幡	7	11	11	30	7	12	25	53
輪 島	1	4	0	0	1	1	2	5
合 計	70	132	88	225	70	180	228	537

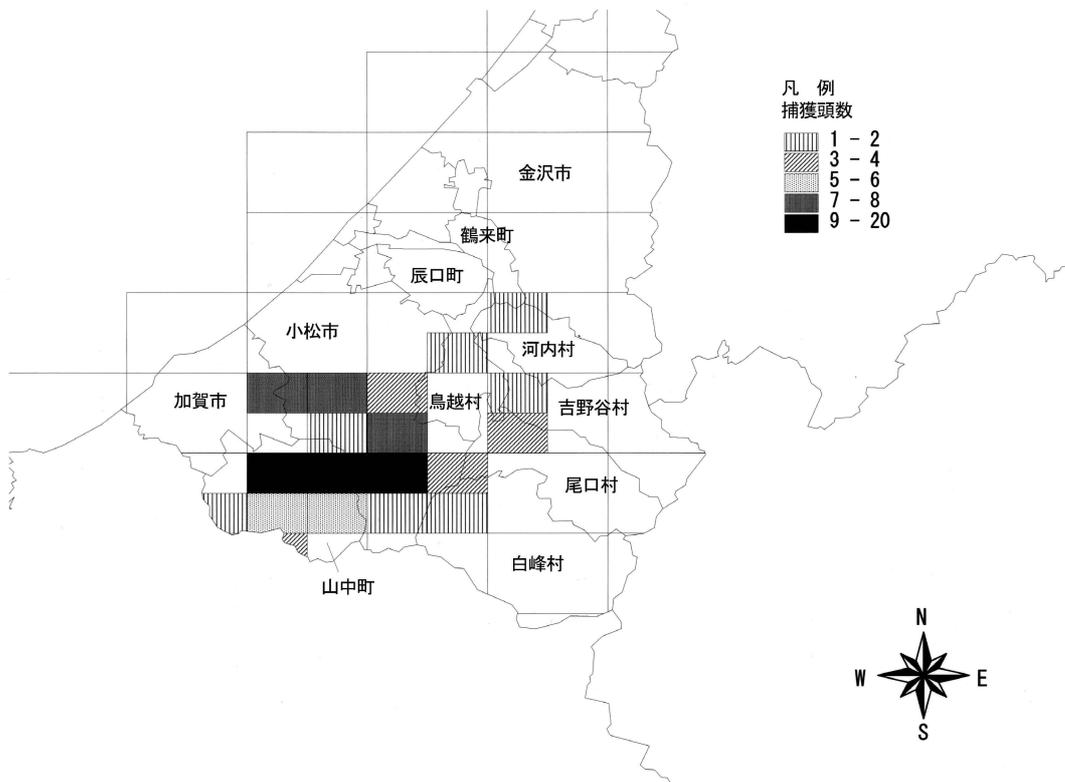


図2 イノシシの捕獲地の分布(平成12年度)

野崎・林：石川県におけるイノシシの捕獲状況について

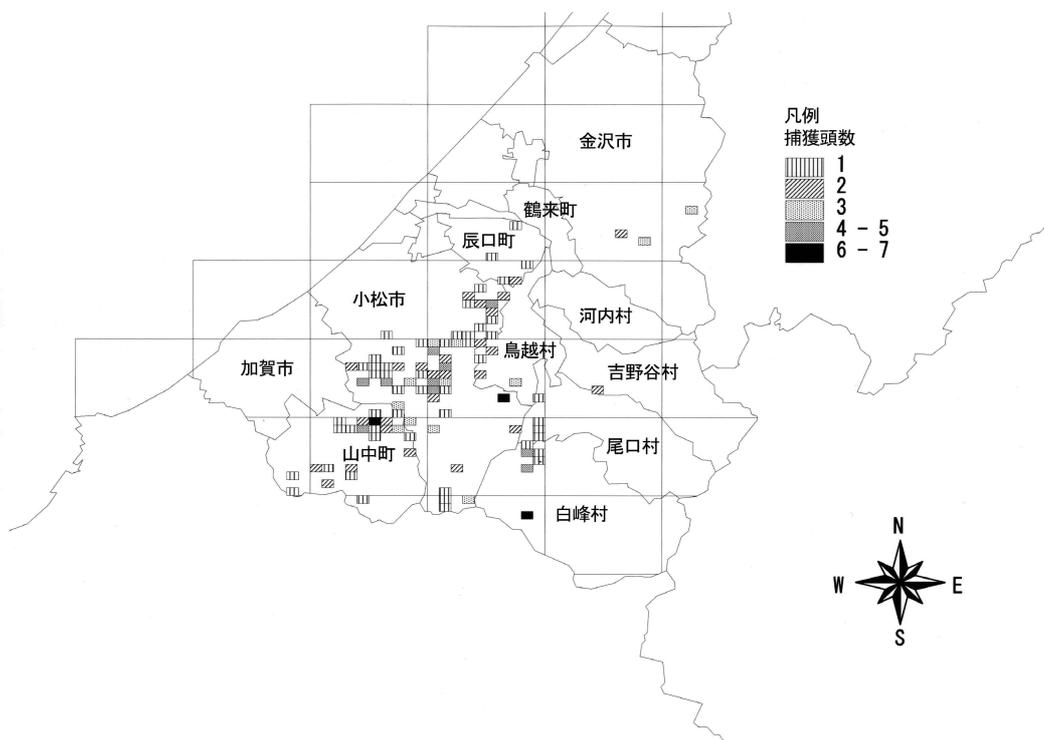


図3 イノシシの捕獲地の分布（平成13年度）

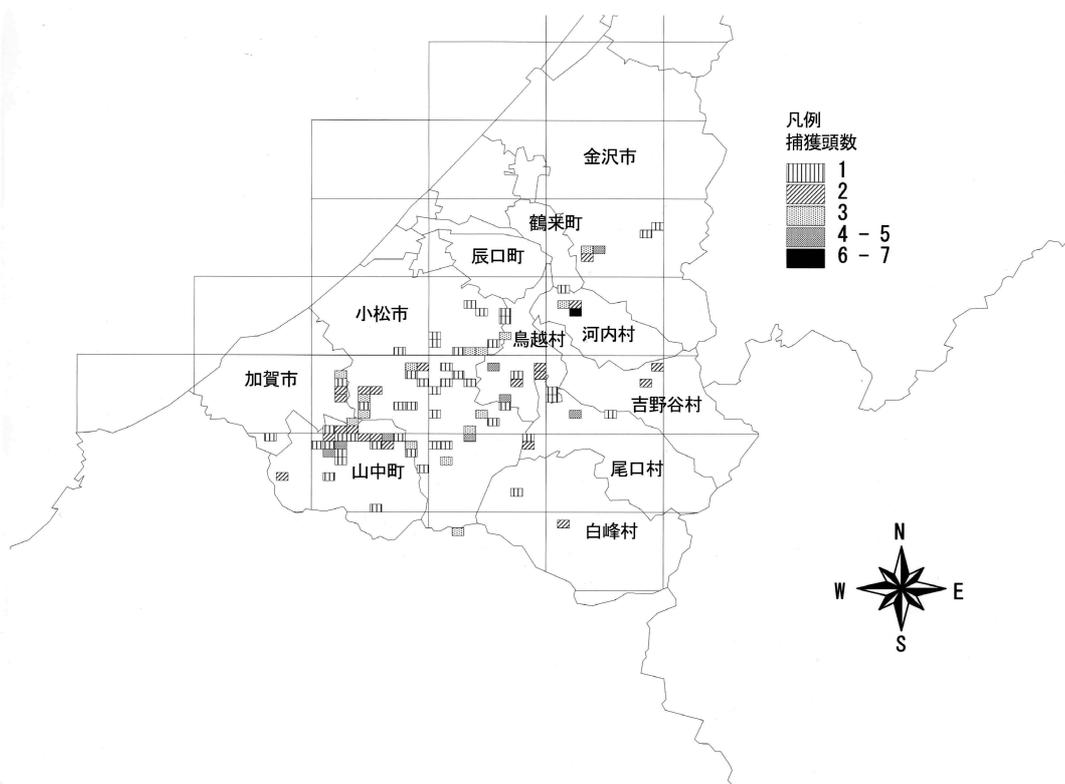


図4 イノシシの捕獲地の分布（平成14年度）

シシの体重は60キロ未満が多く、100kg以上は3年間で6頭だけであった(表3)。捕獲地点は、小松市内で捕獲されたものが最も多く179頭、次いで山中町81頭で、平成13、14年には白山麓や金沢市の捕獲が見られるようになった(表4)。

平成7年頃、小松市粟津、赤瀬ダム周辺でからタケノコや畑作被害、林内ではヤマイモやクズを掘った跡がみられていたことが鳥獣保護員から報告されている。(野崎,前出)。

被害については、平成10年8月に山中町今立で穂が出たばかりのイネがイノシシによって踏み倒される被害が出ている(野崎,前出)。被害統計には平成11年度から報告が有り(表5)、石川県農林水産部による山中町の水稲被害が報告されている。平成12年度には被害が拡大し、加賀市、山中町、小松市の3市町から報告があがっている。さらに、平成13年度には鳥越村から初めて被害報告が出された。

イノシシの動向については、個体数および被害面積、量、金額とも増加傾向にあるため、捕獲報告の内容の記入の際には記載漏れ等がないよう狩猟関係者に協力を要請するとともに、今後ともイノシシの生息動向や被害状況について注意深く見ていく必要がある。

表2 性別毎のイノシシ捕獲数

性別	H12	H13	H14	合計
	55	40	22	117
	61	34	15	110
不明	102	151	143	396
合計	218	225	180	623

表3 体重階級別のイノシシ捕獲数

体重階級(kg)	H12	H13	H14	合計
1~10	3	10	7	20
10~20	23	5	2	30
20~40	23	15	1	39
40~60	14	20	12	46
60~80	16	10	8	34
80~100	10	2	3	15
100~	3	1	2	6
不明	126	162	145	433
合計	218	225	180	623

表4 報告された捕獲地別のイノシシ捕獲数

捕獲地	H12	H13	H14	合計
加賀市	1	0	3	4
山中町	28	37	16	81
小松市	64	48	67	179
辰口町	3	1	0	4
鶴来町	0	0	3	3
河内村	2	0	13	15
吉野谷	1	2	4	7
鳥越村	12	8	13	33
尾口村	3	9	10	22
白峰村	2	9	2	13
金沢市	0	8	9	17
不明	102	103	40	245
合計	218	225	180	623

表5 イノシシによる農業被害

	市町村名	農作物名	被害面積(a)	被害量(kg)	被害金額(千円)
平成11年	山中町	水稲	99	1,701	442
平成12年	加賀市、山中町、小松市	水稲	200	4,492	1,142
	小松市	そば	300	3,000	600
	山中町	ジネンジョ	2	190	290
	県合計		501	7,682	2,032
平成13年	加賀市	水稲	154	6,529	1,388
	山中町	水稲	143	4,749	1,173
	小松市	ジャガイモ	5	144	12
	小松市	水稲	323		5,059
	小松市	大豆	55		153
	小松市	合計	383	144	5,224
	鳥越村	ダイコン	1	300	23
	鳥越村	水稲	10	470	85
	鳥越村	合計	11	770	108
県合計		691	12,192	7,893	

石川県農林水産部資料

文献

- 花井正光(1977)第2部哺乳類・石川県の自然環境 第3分冊鳥獣,149-198.
- 野崎英吉(1999)ニホンイノシシ 石川の自然環境シリーズ 石川県の哺乳類・石川県哺乳類研究会代表真野哲三編集,石川県環境安全部自然保護課,71-72.